

# ひまわり



第20回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 河辺 一子 様

174号

令和6年3月10日

- 2 ▶ 3 能登半島地震 被災地職員派遣
- 4 連載vol.65 ●【記録に残したい記憶】 ～貴重な体験を語り継ぐ～
- 5 介護報酬改定について / ISO再認証審査結果
- 6 ▶ 9 各施設トピックス
- 10 ▶ 11 福寿園ニュース / たぶトピ / 家族会だより
- 12 連載 ●外国人介護士紹介インタビュー  
連載 ●施設長・管理者のリレーコラム  
連載 ●4コマまんが フクちゃん



# 令和6年能登半島地震 被災地への職員派遣について



	派遣期間	派遣先	派遣人数
1	R6.1.15~19	石川県鳳珠郡能登町 特別養護老人ホーム 第二長寿園	6名
2	R6.1.17~21	石川県輪島市門前町 特別養護老人ホーム ゆきわりそう	5名
3	R6.1.22~26	石川県金沢市 いしかわ総合スポーツセンター(1.5次避難所)	1名
4	R6.1.30~2.3	石川県羽咋郡志賀町 富来(とぎ)活性化センター(一般避難所)	2名

このたびの能登半島地震の被災地支援につきまして、愛知県DWA T及びDCATとして、当法人の職員を現在までに合計18名派遣しました。現地での活躍の状況の一部をご報告いたします。  
被災地の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

**1** 愛知DWA T(災害福祉支援チーム)として福寿園職員6名が派遣されました。家屋の倒壊や地盤沈下、土砂崩れ、天候などの影響もあり一日かけて現地に着。同敷地内ユニット型施設が損壊し、従来型特養の食堂スペースにベッドや布団を敷き、居室も詰めて利用しながら全ての利用者が生活を送っていました。自宅倒壊、避難所生活などの状況下で職員は24時間体制。他職員が出勤できるようになり20時間体制へとりましたが、疲労は隠しきれませんでした。電気ガスは復旧したものの断水で給水生活が続いていました。施設側からの依頼でご利用者の清潔保持の支援や余暇活動、損壊施設からの備品搬送、シーツ交換、消毒などの支援をしてきました。このような支援でよかったのかと考えましたが、施設職員からは「これを



してあげたかった。笑顔も見られてありがたい」と。可能であれば今後も継続した派遣をしていきたいと思っていました。(鵜飼孝義)

**2** 被災から2週間が経過し、法人の仲間5名で愛知DWA T(災害福祉支援チーム)として被災地支援に入りました。ワンボックスカー2台に水や食料、衣料品をめいっばい詰め込み、片道9時間かけて現地へ。能登半島に入ると各所で地割れ、土砂崩れ、家屋倒壊を目の当たりにし、非日常の光景に胸を痛めました。震災以後、現地職員は避難生活再建のため半減し、残った職員で1週間以上泊まり込み、24時間体制でのケアが続いていました。日常の介護、生活支援の中で自分達に何ができるか。早く目に入ったのは床に積もった埃や居室の汚れと人居





者の伸びた髭や目脂、口の周りの汚れてきた。水が無く、拭き掃除や入浴が2週間以上滞っていたことから、環境整備や整容の必要性を強く感じ即実行しました。現地職員の困りごととは優先して伺い、手を煩わせないように自分たちに何ができるかを常に考え、目の前のできることを実践することが求められました。日々の報道で復興の進捗を見ても、未だその道のりは遠く、現地での普通の暮らしが戻るその日まで、一歩ずつ息の長い支援が繋がっていくことを切に願います。

(柘植 健史)



### 3 愛知DCAAT (災害派遣介護チーム) の先遣隊として活動を行いました。

この15次避難所は生活環境を確保し、次の2次避難所へ移動するための一時的な受け入れ先として設けられました。

私達は皆さんが安心して生活し2次避難所へ移れるよう、保健師、介護チーム、JRAAT (大規模災害リハビリテーション) 支援関連団体協議会)、看護師等と協力して支援活動を実施しました。被災者の方々の様々な思いを聴き、宿泊先の確保や介護サービス利用に対するケアマネジャーとの調整、施設入所希望者の介護支援専門員協会との連携、介護保険申請手続き等、その人が望む生活ができるよう、他県も含めたDCAATチーム全員で取り組みました。他職種の人達と初めてのチームでし

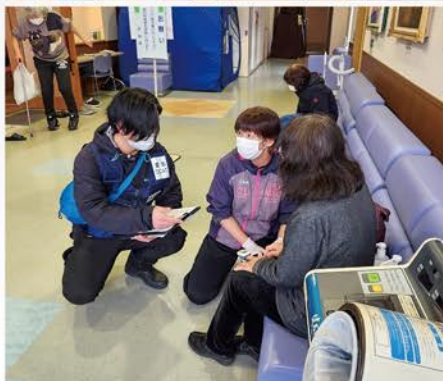
たが、全員が被災者の方々の声を聴き、気持ちに寄り添い、心をひとつに活動してました。今後とも復興に向けて、支援は継続が必要です。微力ながらも少しでも力になれるよう努めていきます。

(浅野 修良)

### 4 愛知DCAAT (災害派遣介護チーム) の一員として、支援活動を行ってきました。

そこで170名以上の避難者が生活され、断水は一カ月以上続いている状況でした。避難所付近では道路が寸断、家屋が倒壊しており、地震による衝撃な光景を目の当たりにして心を痛めました。

チーム員は福寿園から2名、その他に障害事業所の管理者、相談支援専門員等で構成された5名です。避難所での支援活動内容は、主に



相談援助です。介護保険福祉相談窓口を設け、避難所内をラウンドし、要配慮者の様々な課題、ニーズを聞き取りました。トイレ、シャワー室に手すりを付けて環境を整えたり、訪問入浴関連の支援では、避難所生活でまだ一度も入浴できていない方に入浴していただいたりすることもできました。町内の福祉指定避難所から要請を受け、実際に現地調査を行い、管理者たちの相談に乗り、話し合ったことも貴重な経験です。どこまで被災者の方々の助けになったかはわかりませんが、チームで試行錯誤を繰り返して、思いを込めて支援ができたことは、自分にとってかけがえのない経験となりました。被災者のみなさんからいただいた「ありがとう」の言葉は忘れられません。一日も早い復興と心からの笑顔を願っております。

(加藤 恭二)



## 連載 65

# 記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。



常滑市大野店先にて(右から2人目)

送会社へ転職。ベテラン運転手の元、3年ほど助手という名の修行をさせてもらいました。当時は自分で練習をして試験に挑む形式だったため、厳しい先輩から教わるために、トラックをいつも隅までピカピカに磨いたことを覚えています。会社に

私は、福井県の岩崎家に三男三女の次男として生まれました。高等科に通いながら、材木屋で大工仕事などをしながら家計を助けていました。新制中学発足の年、高等科から中学へ移行し卒業しました。兄が戦争から戻り、次男の私は県外へ出て働くことに。大雪の降る福井には働き口が少なかったため、愛知県知多郡横須賀町(現東海市)へ移りました。



知多市粕谷店オープン

休みをもらい、数回目の試験で合格。念願のトラックドライバーになりました。そんな折、同僚からお見合いに誘われ、妻と出会いました。故郷の親に報告をし、23歳で結婚。それからドライバーの仕事に明け暮れていましたが、30代で長男が誕生しました。長距離トラックでは、週に2日ほどしか家に帰れなかったため、タクシートの運転手に転職しました。妻の両親から、布団屋を継いでくれないかと頼まれたのは丁度その頃でした。

それから、町内会長を務めるなど、地域とのかかわりが多くなっていきました。50代でカラオケの良さに気づき、60歳のとき、布団屋の傍ら、妻に内緒で自宅にカラオケ喫茶を開店。妻にはかなり叱られました。いつも店は賑わっていました。妻が他界した後、布団屋は長男に継いでもらいました。



神谷 甲子郎さん  
(ちた福寿園)

### プロフィール

誕生日：昭和7年6月26日(91歳)  
出身：福井県南条郡堺村  
(現今庄町)  
趣味：大工仕事



カラオケ喫茶スナック葵マスター

そして今、働かなくて良いのかな。と思う気持ちもありますが、子どもたちは立派に巣立ち、それぞれの家庭を築いているため満足しています。人生に悔いはないけれど、一度故郷に行ってみたいなと思ったりしながら、今の生活を楽しんでいきます。



## 介護報酬及び障害給付費の改定

令和6年4月から介護保険と障害者総合支援法の同時改定が実施されます。加算の算定要件等はまだまだはっきりしませんが、現時点で判明している範囲で報告いたします。まず介護報酬は全体で1.59%のプラス改定となりましたが、その大部分は職員の処遇改善に充てられます。物価高騰に対しては8月より居住費が一日当たり60円上がります。今回の改定で注目されるのは、第一に医療と介護の連携推進です。協力医療機関への相談・往診・入院等の協定が義務付けられます。第二に、増え続ける認知症の方への対応力向上です。認知症チームケア加算が新設されて、認知症実践者リーダー研修修了者を中心としてチームで認知症状の悪化を防ぐことが評価されます。第三に、見守り機器等を活用して生産性の向上を図り、働きやすい職場作りをした場合に生産性向上体制加算が新設されます。一方で、業務継続計画未策定減算、高齢者虐待防止措置未実施減算が事業所ごとそれぞれに適用されることに注意が必要です。また豊田市と武豊町で級地の改定がありましたので、それぞれ3%介護報酬がアップします。

障害の給付費改定では全体として1.12%のプラス改定ですが、施設やグループホームから地域へ移行し

た場合や、強度行動障害・医療的ケアが必要な重度障害児者に対するケアが高く評価される一方で、比較的軽度者を対象とする就労継続支援A型にとっては、非常に厳しい改定となりました。売り上げから必要経費を除いた収入が利用者さんに支払う金額を上回らない場合、厳しいペナルティが課せられます。介護保険と異なり、元々あった様々な障害別のサービスを統合して作った法律の性質もあって、非常にわかりにくい制度となっています。減算も介護保険の3つの減算に加えて個別計画未作成減算、情報公表未報告減算と5つの減算がありますので、加算を取得することも大事ですが、減算とならない日頃の取り組みも大切です。

総合すると、収入は増えますが、過去3年の物価高騰率には到底及ばず、施設運営は厳しさを増していくものと思われます。また職員の賃金向上となる原資も他業種に比較すると不十分です。できるだけ加算を算定すればするほど、ご利用者・ご家族の負担が増えてしまいますが、より安心ができるサービスを提供するためには、職員の定着が一番大事です。その為には、きちんと収入を確保して、しっかり職員の賃金向上を目指していきたいと思います。どうか、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## ISOの再認証審査結果について



ISO 9001:2015 認証取得  
ISO 14001:2015 認証取得

昨年12月4日から8日の5日間にわたって、6名の審査員にISO品質マネジメントシステムと環境マネジメントシステムがしっかり運用できているか審査をしていただきました。法人内9施設を回り、利用者の受け入れからサービス提供までの流れ、骨折等の対処、品質目標の確認等をしていただきました。特にトップマネジメント、職員研修、内部監査の仕組み等に高い評価をいただき、「不適合なし」とのお墨付きをいただき、無事に認証を受けることができました。今後、さらにサービスの品質を担保する仕組みを磨いていきたいと思います。



## 豊田福寿園

### 出かけよう街に!!「足助の中馬のおひなさん」

足助の古い町並みに並び、民家や商家に古くから伝わる土雛やお雛様などが、玄関や店先に華やかに飾られるイベントに出かけました。古い町並みには古民家カフェもあり、利用者さんの顔も、幼いころに見たお雛様を見るように、笑顔いっぱい。



「そうこれ、家にもあった」と、古い町並みとお雛様が利用者さんを童心に戻し、五平餅を頬張るなど、中馬街道を散策して楽しめました。次なる「出かけよう街に」はどこかな?見かけたらお声をかけてください。

## 赤羽根デイサービス

### 柳田知可さん演奏交流会



視覚障がい者団体「さくらんぼ」さんが、利用者との交流

会を企画してくれました。ケアハウスパシフィックの入居者も招かれ、デイサービスの利用者と一緒に楽しむ機会となりました。この日のためにカラフルで素敵な歌詞カードを準備してください、皆はそれを見ながら、視覚難病と向き合う柳田さんが奏でる素敵なギターの音色に合わせて、一緒に口ずさみました。昔懐かしい曲からオリジナル曲「いいじゃん田原」も披露してください、柳田さんとご利用者の歌の掛け合いは、素敵なハーモニーとなって一体感が生まれました。

## 保育所きだっこえん

### きだっこえんに鬼が来た!



子どもたちは事前に鬼のお面を作ったり、広告や紙袋を丸めて豆まき

用の豆を作ったりと準備万端!!当日は鬼が来るのを楽しみに待っていました。いざ鬼が登場すると固まってしまう子どもたち。それでも鬼に向けて一生懸命豆を投げ、最後は陽気な鬼とハイタッチをしていました。きだっこえんでは、節分は怖い鬼をやっつけるのではなく、鬼に扮した職員の厄を払ってあげたり、子どもたちの病気やケガ等の厄を払ったりと、厄払いの意味を込めて楽しく豆まきをしています。子どもたちと職員とすっかり厄が払え、今年も健康で楽しい年が過ごせそうです。

## グループホーム田原ゆの里

### 伝えたい施設の味

グループホーム運営推進会議は2ヶ月に一度、ご家族や地域の方と、施設での活動内容や地域全体の課題など、様々なテーマで話し合いが行われます。今回は、福寿園の食事をテーマに行事食について紹介しました。創始者直伝のこだわりをお伝えし、実際に皆



この季節に囲みたい『福寿鍋』の試食会も行いました。「生活の中で、食事は一番の楽しみであります。こんなにも食事に力を入れていることを知りませんでした」「私も将来福寿園の食事が食べたい」との声をいただきました。今後も皆さんに食事を楽しんでいただけるように努めていきます。次回はトランスファアの介護技術について紹介する予定です。



武豊福寿園デイサービス  
唄って踊って

デイサービスにボランティアさんが来ました。知多半島出身の人達で構成されている、「ふるさと民謡クラブ」のみなさんです。この日は日本全国の地域に伝わる民謡を、三味線と和太鼓、尺八を使いながら唄ってくださいました。衣装や番傘も華やかで、利用者さんも「持ってみたい」とおっしゃいましたの



で、演奏の後は賑やかな写真撮影会になりました。

東海福寿園  
デザートバイキング

去年の秋に予定していた餅つき大会が中止となっていました、その代わりに、2月13日にデザートバイキングを行いました。



職員がホールスタッフに扮し、一人ひとりに飲み物やデザートを伺い、召し上がっていただきました。皆さん沢山おかわりもされてとても喜ばれ、素敵な笑顔で溢れていました。

ました。フルーツ、チョコプリン、イチゴのショートケーキだけでなく、パンケーキを目の前で焼き、注文するところから楽しんでもらえました。普段介護をしている職員がホールスタッフ

ひまわりの街  
願いを込めて初詣

新年を迎え、今年は知立神社へ初詣に出掛けました。千年以上に渡り永く奉られているこの神社の初詣は、毎年多くの人で賑わいます。久々のお出掛けとあって、皆さん前日より、どんな服装で行こうかなど楽しみにされている様子が伺えました。



天気はとても良く、初詣日和です。お賽銭を投げ入れて、日頃の感謝や健康をお祈りされました。今年は元日から能登半島地震もあり、入居者の思いも一層強いものとなったと思います。

昭和の里デイサービス  
自分にそっくりだるま作り

デイサービス利用者からの「手作り工作がしたい!」とのリクエストにお答えするため、縁起の良い「だるま」を手作りすることにしました。利用者からいただいた牛乳パックと、赤・黄・緑・青のお花紙を使用していざ製作。だるまの顔を筆ペンで描く際には、ご自身そっくりの表情に。完成すると皆さんお互いの



花の里  
リフレッシュ外出

すみれユニット入居者2名が1月19日に、誕生日のお祝い兼ねて、近くにあるうどん屋「あずみの」へ外食に行きました。昔来店したことがある方は、当時よく食べていた味噌煮込みうどんを注文し、職員と談笑しながら「昔と変わらず、美味しかった」と喜ばれていました。その後、近くの神社へ初詣にも行きまし



た。「初詣に行けるとは思わなかった。来て良かった」と笑顔が見られました。



### 本日のクラブ活動は…♪

寒さが続く今日この頃、クラブ活動を楽しみ姿がよく見られます。今回は、数あるクラブ活動の中でも長く愛され続けている銭太鼓クラブの様子を紹介いたします。この日はみなさんが好きな演歌の曲を練習しました。「右・左・上でクロス」と職員の声聞きながら、真剣な表情のみなさんです。



ケアハウスきぬつら  
**可愛らしいお雛様**  
入居者の方と一緒に、ひな祭り飾りを作りました。用意された色とりどりの花に「春だねえ」と皆さん春の訪れを感じているようでした。「これだと寂しい?どう?」「ここにも飾った方がいいかしら」「青色がほしいわね」など、思い思いにお雛様と花など小物も一緒に飾っていきます。完成した作品はどれも可愛らしく、春らしい華やかなひな祭り飾りになりました。個性溢れる素敵なお雛様飾りに、皆さん「可愛くできたね」と満足そうでした。



曲が終わると「難しい!」と笑ってしまう場面もありましたが、身体を動かして運動にもなるし、頭の体操にもなると好評でした。銭太鼓はやはり難しいと、得意の歌で参加されるなど、それぞれ楽しみながら練習しています。この日もみなさんの笑い声と銭太鼓の音が響き渡っていました。

### 託児所すくすく鬼退治

子どもたちは作る事が大好き! 節分に向けて鬼の顔を作りました。目をクレパスでぐるぐる描いたり、シールを貼ったり。角の本数も子供たちが決め、いろいろな鬼ができました。そして、豆まきの始まりです。「鬼は外:福は内!」と豆をたくさん飛ばします。みんなのお腹の中にはどんな鬼がいるのかな? その他にも「鬼のパンツ」の手遊びをして楽しみました。



渥美福寿園  
**いろいろをそえて**  
3月1日にひな祭りの行事が行われました。ちらし寿司やまぐりのお吸い物などのひな御膳をおいしくいただき、職員が昔ながらの着物を着て、ひな祭りの行事に花を添えました。今回は、12月にフィリピンから渥美福寿園へ来た15期生のEPA介護福祉士候補者にも着てもらい、日本の文化にふれ合うこともできました。3人も初めて着物を着たそうで、少々緊張しているようでした。入居者のみなさんも「とてもすてきで似合っているよ」と大変喜ばれていました。





### みなみ福寿園デイサービス ブリの解体ショー

2月2日、節分祭で厨房職員によるブリの解体ショーを行いました。二刀流の巧みな手さばきに皆さん見入っていました。特に、綺麗に皮をはいでいく姿には「おぉー」と大きな歓声と拍手が沸き起こりました。「この大きさで何人前のお刺身ができるのかしら？」



「ブリしゃぶ、ブリ大根、お味噌汁に入れてもおいしいのよね」と主婦談義も始まります。その後、さばいたブリで握ったお寿司が出てくると「すごく楽しみにしていたの」「もうおなかペコペコ」とうれしい声が聞こえてきました。解体ショーは30分ほどの短い時間ではありましたが、いつもは厨房にいる職員も利用者の皆さんと交流でき、楽しい時間となりました。

### ちた福寿園 願えば叶う!? だるま大祭

毎年、成人の日に行われる「開運大日福だるま大祭」。だるまのお焚き上げを見に行こう！と、知多市の「だるま寺」こと大興寺へ。前年の大日福だるまに一齐に火をかけるお焚き上げは圧巻でした。その後は参拝し、新年の健康や家内安全を祈願しました。「昔は毎年来ていたよ」と懐かしみ



ながら、小ささまざまな開運だるまや、だるまが描かれているお煎餅を購入し、楽しめました。資格試験を控えた職員は、合格を祈願して大きなだるまを購入。入居者の皆さんから「頑張れ！」と力強い一言もいただき、合格できそうな予感です。

### 田原福寿園デイサービス 福寿園ギネスに挑戦!!



節分祭の企画として、長〜い恵方巻作りに挑戦。一本の中にサラダ巻・ネギトロ巻・韓国風海苔巻・かんぴょう巻と4種の具材を用意。利用者や職員が一致団結して巻くことができ、完成した恵方巻の長さはなんと4m67cm！利用者からは「こんなの初めて」「楽しかった」など多くの言葉をいただき、初めての試みでしたが大成功。どれも美味しいと好評でしたが、その中でも韓国風海苔巻が人気でした。来年は記録更新を目指します。

### ひまわり邸 数字で見る実習受入

ひまわり邸では、今年度も多くの実習生を受け入れており、その数は年間240名。内訳は看護約60%、大学生20%、短大・専門学校、高校その他が20%を占めています。2月29日のインターンシップ実習生限定説明会の全参加者13名の内10名がひまわり邸の実習生（社会福祉士実習学生とインターンシップ学生）と8割弱でした。多くの実習生を受け入れ、そこから就職に結びつくという形ができあがろうとしています。今後も受け入れを積極的に行い、将来



を担う福祉人材となってくれるよう、親切丁寧な指導を心掛けていきます。



## 大相撲星取予想 年間MVP決定

中央が優勝の石原康伊さん、左は3位の中西智典さん



毎年恒例の、法人内施設全体による『大相撲星取り予想年間上位者』が発表されました。今年度はケアハウスパシフィックの石原康伊さんがみごと優勝に輝きました。理事長よりお祝いの言葉と賞状、記念品として画材セットが贈られました。

順位	名前	施設名	総得点
一	石原康伊	ケアハウスパシフィック	三六〇五〇
二	田中美代子	ケアハウスきぬうら	三九一八〇
三	中西智典	ケアハウスパシフィック	三九〇八〇
四	掛橋勝治	看護老人ホーム福寿園	三九〇三〇
五	和田孝久	看護老人ホーム東海福寿園	三八八八〇
六	橋井美香	ケアハウスパシフィック	三八五四〇
七	木田洋	看護老人ホーム福寿園	三八四二〇
八	小島洋二	ケアハウスパシフィック	三八一〇〇
九	塚原隆子	看護老人ホーム福寿園	三八一〇〇
十	橋井康介	ケアハウスパシフィック	三八〇八〇

令和5年度 令和5年春場所(令和6年初場所)  
大相撲星取予想 法人年間総得点ベスト10

## 令和5年度 職員リーダー研修会

2月1日、豊橋のホテルシーパレスリゾートにおいて、職員リーダー研修会が開催されました。法人内の主任やセンター長などの現場リーダーを対象に、109名の職員が参加しました。

午前中の冒頭は、古田理事長による講義が行われました。「現場を変革するリーダーシップ」と題し、人口減少や厳しい社会情勢に直面した中、法人としての方向性やリーダーとして俯瞰した見方で柔軟にマネジメントしていくことの大切さを伝えました。

続いて、中立常務理事による介護保険等の制度改正に関する講義が行われ、ICT機器の活用や生産性向上、介護と医療の連携等の改正内容をリーダーたちが共有し、制度改正に対する理解を深める機会となりました。

午後からは、日本福祉大学福祉経営学部長・教授であり、社会福祉法人睦月会理事長の綿祐二様をお招きし「福祉専門職としての役割とリーダーの資質」をテーマに、グループワークも交えながらご講義いただきました。綿様は理事長というお立場でも現場のケアに大変精通されており、ICT機器の活用、不適切ケアの考え方、リスクマネジメントと様々なテーマが凝縮され、あっという間の3時間でした。参加者は、根拠をもって職員に伝えることの大切さを認識させられ、今後のリーダーシップの向上に大きな学びとなりました。



## 介護労働安定センター愛知支部賞を受賞

このたび、介護労働安定センター様より愛知支部賞を受賞しました。

この賞は、介護労働者の福祉の増進と、魅力ある職場づくりを目指して、地域活動などにより地域に貢献している事業所を表彰するものです。福寿園は、長年実施してきた段階別職員研修などの人材育成制度により職員の成長を支援しています。また、様々な福利厚生制度により職員の健康や充実したプライベートをサポートしている点が評価されました。

これからも一層働きやすい職場づくりに努めてまいります。



## 令和5年度 職員交換研修

福寿園では、法人のスケールメリットを活かした研修の一環として、法人内の他施設へ職員を研修として数日間派遣する職員交換研修を実施しています。

対象者は概ね入社2～4年目の職員を中心に、自施設しか経験したことがない職員が他施設で学ぶことにより、初心に立ち返り、日頃の仕事のマンネリ化解消等の効果が期待されます。また、ベテランやリーダークラスの職員が他施設の先進事例や取り組みを学ぶために派遣する特別枠もあります。

お互いの良いところを取り入れ、施設間で切磋琢磨することにより、法人全体のサービスのレベルアップと職員のモチベーション向上につながることを期待されます。



## 東三河日本語スピーチコンテスト

1月28日、田原市のスピーチコンテストを勝ち抜いた、日本語学科のアルディカさんとジュリアディさんが東三河日本語スピーチコンテストに参加しました。

それぞれ日本に来て変わったことや、コミュニケーションは言葉だけではないことなどを、田原市の代表として堂々と発表していました。ジュリアディさんは優秀賞、アルディカさんは努力賞にも選ばれ、応援にかけつけた他の日本語学科の生徒とともに、とてもいい笑顔を見せていました。



## 登録支援機関 はじまります!

外国人特定技能の在留資格がはじまった2020年、法人として登録支援機関の登録を得ました。しかし、特定技能所属機関としての活動にとどまり、登録支援機関事業は大きく動いていませんでした。

この春、日本語学科の学生が特定技能1号としてさまざまな施設へ就職するにあたり、いよいよ登録支援機関が動き出します。入管への定期届け出にかかる支援や相談支援、また日本語や介護福祉士受験までの研修支援を行っていきます。就労後も安心して施設が外国人介護士を雇用できるようにサポートを行います。

## 障がい事業開始

田原福寿園・パシフィック・渥美福寿園・花の里

法人が全世代・全対象者型福祉を推し進めるなか、東三河地区でも令和6年1月1日付で共生型居宅介護・重度訪問介護、共生型生活介護、共生型短期入所の障がい事業の指定を受け、田原・パシフィック・渥美・花の里の4施設でスタートしました。既にいくつかの相談も受けており、まだまだ多くの課題がありますが、今までの高齢者介護で培った介護力を活かし、障がいを抱える皆さんのニーズを創造しながら地域の方々が生涯にわたって充実した支援が受けられるよう努めていきたいと思っております。

## 家族会だより

養護者・田原福寿園  
家族会コンサート

今年度の福寿園家族会主催新春コンサートには、「福寿園ゆめ音頭」でおなじみの佐藤朱実さんが来てくださいました。デビュー曲の「ひまわりは再び」や昭和歌謡を披露しながら客席を回ってくださり、入居者の皆さんやご家族



の皆さんも大盛り上がり! また次回を楽しみに、大盛況で幕を閉じました。

## ちた福寿園 家族会勉強会

2月26日、防災をテーマに家族会勉強会を開催しました。今回は、BCP（業務継続計画）についての施設の取り組みと、能登半島地震の派遣職員の話について紹介させていただきました。災害派遣の話では、現地の状況など報道では知ることができないリアルな声に、皆様真剣に耳を傾けてみえました。派遣職員の経験を基に、防災意識を高めることのできた有意義な会でした。

勉強会の後は昼食会として、カレーバイキングを行いました。アットホームな雰囲気でご家族の皆様とゆっくり話すことができ、職員としても貴重な交流の機会となりました。





## 福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.10

# 「新人介護士」 つりちゃん



## 連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在104名(フィリピン人70名、ベトナム人31名、インドネシア人3名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか?  
A 家族を支えるため、将来のため海外で働きたいと思いました。日本は自然と独自の文化だけでなく、戦争後の復興と成長の早さに驚いて日本生活に興味を持ちました。
- Q 日本に来て一番驚いたことは?  
A 道路で車のクラクションが聞こえないことにびっくりしました。
- Q 休日は何をしていますか?  
A 映画を見たり、天気がいい時に周辺スポットか面白い店を検索して行ったり見たりしています。
- Q フィリピンへ旅行に行くならどこがおすすめですか?  
A フィリピンのパラワン島です。自然愛好者にお勧めします。
- Q 日本の食べ物で何が好きですか?  
A 焼肉、寿司、うどんが好きです。
- Q 将来の夢はなんですか?  
A 結婚して幸せな家族を作りたいです!
- Q 最後に一言  
A 旅行と色んなことを体験することが好きなのでお勧めがあれば教えてください!



ガラウ クリスニーニャ  
ジージェス  
ニックネーム  
ジージェ  
ひまわり邸  
国籍:フィリピン



## 連載 施設長・管理者の リレーコラム

特別養護老人ホーム  
田原福寿園(本館)

施設長 石井 好春

早朝の老人ホームの始まりは、にこやかに微笑む人もあれば、不安を露わに話の止まらない人、自宅や家族が気になって眠れずの険しい表情など、それぞれに迎える朝があります。お年寄りの一人ひとりと挨拶を交わすこの時間が、私は一番好きです。そして、夜勤明けの職員たちが、一晩の疲れともう一息で仕事を終わられるという安堵感の交じった表情を見せながら、誇らしげに夜間の出来事を報告する時、私は心からの「お疲れさま」の労いの言葉を贈ります。

埋もれがちな老いの世代にあって、福寿園での生活が再び輝ける時間となるように、昼夜を支える若き後輩たちと共に、今日もお年寄りの安心の居場所を作っていきたいと思います。子どもたちの可能性を見つめ続けた、トモエ学園の小林校長先生は、私にとってのあこがれです。

次号は、ケアハウスパシフィックの原野施設長へバトンを渡します。



令和6年3月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園  
■理事長/古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008  
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



vol.174 12